

都道府県がん診療連携拠点病院 連絡協議会

がん登録 報告

国立がん研究センター がん対策研究所 がん登録センター
松田 智大

第4期がん対策推進基本計画（令和5年3月28日閣議決定）概要

第1. 全体目標と分野別目標 / 第2. 分野別施策と個別目標

全体目標：「誰一人取り残さないがん対策を推進し、全ての国民とがんの克服を目指す。」

「がん予防」分野の分野別目標

がんを知り、がんを予防すること、がん検診による早期発見・早期治療を促すことで、がん罹患率・がん死亡率の減少を目指す

1. がん予防

- (1) がんの1次予防
 - ①生活習慣について
 - ②感染症対策について
- (2) がんの2次予防（がん検診）
 - ①受診率向上対策について
 - ②がん検診の精度管理等について
 - ③科学的根拠に基づくがん検診の実施について

「がん医療」分野の分野別目標

適切な医療を受けられる体制を充実させることで、がん生存率の向上・がん死亡率の減少・全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

2. がん医療

- (1) がん医療提供体制等
 - ①医療提供体制の均てん化・集約化について
 - ②がんゲノム医療について
 - ③手術療法・放射線療法・薬物療法について
 - ④チーム医療の推進について
 - ⑤がんのリハビリテーションについて
 - ⑥支持療法の推進について
 - ⑦がんと診断された時からの緩和ケアの推進について
 - ⑧妊孕性温存療法について
- (2) 希少がん及び難治性がん対策
- (3) 小児がん及びAYA世代のがん対策
- (4) 高齢者のがん対策
- (5) 新規医薬品、医療機器及び医療技術の速やかな医療実装

「がんとの共生」分野の分野別目標

がんになっても安心して生活し、尊厳を持って生きることのできる地域共生社会を実現することで、全てのがん患者及びその家族等の療養生活の質の向上を目指す

3. がんとの共生

- (1) 相談支援及び情報提供
 - ①相談支援について
 - ②情報提供について
- (2) 社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援
- (3) がん患者等の社会的な問題への対策（サバイバーシップ支援）
 - ①就労支援について
 - ②アピアランスケアについて
 - ③がん診断後の自殺対策について
 - ④その他の社会的な問題について
- (4) ライフステージに応じた療養環境への支援
 - ①小児・AYA世代について
 - ②高齢者について

4. これを支える基盤

- (1) 全ゲノム解析等の新たな技術を含む更なるがん研究の推進
- (2) 人材育成の強化
- (3) がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

(4) がん登録の利活用の推進

- (5) 患者・市民参画の推進
- (6) デジタル化の推進

第3. がん対策を総合的かつ計画的に推進するために必要な事項

1. 関係者等の連携協力の更なる強化
2. 感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策
3. 都道府県による計画の策定
4. 国民の努力
5. 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
6. 目標の達成状況の把握
7. 基本計画の見直し



オランダ
人口1770万

4,154 (1981~2024)



cancer registry netherlands

Search

Advanced Create alert Create RSS

User Guide

Save Email Send to

Sort by: Best match

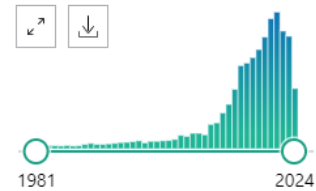
Display options

4,154 results

Page 1 of 416

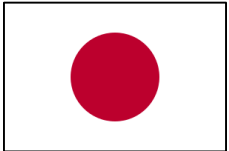
MY NCBI FILTERS

RESULTS BY YEAR



Your search was processed without automatic term mapping because it retrieved zero results.

1 Excess of autoimmune and chronic inflammatory disorders in patients with lymphoma compared with all cancer patients: a cancer registry-based analysis in the south of the Netherlands.
van de Schans SA, van Spronsen DJ, Hooijkaas H, Janssen-Heijnen ML, Coebergh JW.



日本
人口1億2510万

2,744 (1970~2024)



cancer registry japan

Search

Advanced Create alert Create RSS

User Guide

Save Email Send to

Sort by: Best match

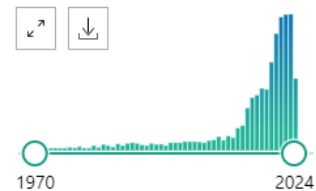
Display options

2,744 results

Page 1 of 275

MY NCBI FILTERS

RESULTS BY YEAR



Your search was processed without automatic term mapping because it retrieved zero results.

1 Comprehensive registry of esophageal cancer in Japan, 2015.
Watanabe M, Toh Y, Ishihara R, Kono K, Matsubara H, Miyazaki T, Morita M, Murakami K, Muro K, Numasaki H, Oyama T, Saeki H, Tanaka K, Tsushima T, Ueno M, Uno T, Yoshio T, Usune S, Takahashi A, Miyata H; Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society.

NDB と他の公的データベース等との連結について

- 現在介護DB、DPCDBとの連結解析を開始している。今後、①他の保健医療分野の公的データベースとの連結、②民間データベースである次世代医療基盤DBとの連結、③死亡情報との連結について、検討。

区分	DB名	元データ	NDBとの連結の意義・必要性	識別子(※1)	連結の検討状況等
公的	介護DB	・介護レセプト ・要介護認定情報 等	・治療を受けた要介護者の治療前後における医療・介護サービスの利用状況の把握・分析に資する。	・ID4(2020年10月) ・ID5(2022年4月)	・令和2年10月開始。
	DPCDB	・DPCデータ (診療情報、請求情報)	・急性期病院へ入院した患者の状態や入院日の把握が可能となり、急性期医療における治療実態の分析に資する。	・ID4(2022年4月) ・ID5(2024年4月)	・令和4年4月開始。 (令和6年4月からID5利用開始予定。)
	障害福祉DB	・給付費等明細書情報 ・障害支援区分認定情報	・治療を受けた障害者の治療前後における医療・障害福祉サービスの利用状況の把握・分析に資する。	・ID4 ・ID5(検討中)	・令和4年6月に関係審議会で意見書とりまとめ、法制化に向けて検討中。
	予防接種DB	・予防接種記録 ・副反応疑い報告	・予防接種を受けた者と受けていない者を比較した、ワクチンの有効性・安全性に関する調査・分析のために必要。	・ID4 ・ID5	・令和4年9月の関係審議会で意見を踏まえ、法制化に向けて検討中。
	感染症DB	・発生届情報 等	・感染症の治療実態と予後の把握・分析に資する。	・ID4 ・ID5	・令和4年9月の関係審議会で意見を踏まえ、法制化に向けて検討中。
	難病DB	・臨床調査個人票 (告示病名、臨床所見等)	・網羅的かつ経時的な治療情報を得ることが可能となり、より詳細な治療実態の把握・分析に資する。	・ID4 ・ID5	・令和3年7月に関係審議会で意見書とりまとめ、法制化に向けて検討中。
	小慢DB	・医療意見書 (告示病名、臨床所見等)	・網羅的かつ経時的な治療情報を得ることが可能となり、より詳細な治療実態の把握・分析に資する。	・ID4 ・ID5	・令和3年7月に関係審議会で意見書とりまとめ、法制化に向けて検討中。
民間	全国がん登録DB	・届出対象情報 ・死亡者情報票	・各種がんの各ステージ分類毎による治療実態と予後の把握・分析に資する。	検討中	・令和3年12月から関係審議会で議論を開始しており、引き続き検討中。
	次世代DB(※2)	・医療機関の診療情報 (レセプト、電子カルテ、健診情報等)	・アウトカムを含む医療情報と連結・分析を可能にすることにより医療分野の研究開発を促進する。	・ID4 ・ID5	・令和4年6月に次世代医療基盤法WG中間とりまとめで連結について検討することとされた。連結する方向で内閣府で検討中。

※1 ID4:カナ氏名・生年月日・性別のハッシュ値 ID5:最古の個人単位被保険者番号のハッシュ値。
 ※2 次世代医療基盤DBについては、次世代医療基盤法に基づく主務大臣の認定を受けた認定事業者がDBを保有。

その他	死亡情報	死亡の時期や原因等	・発症から死亡に至るまでの治療実態が把握できることにより、治療介入の必要性の検討や効果の検証に資する。	-	・NDBに死亡情報を収載する方向で検討してはどうか。(詳細は11ページ以降)
-----	------	-----------	---	---	--

【参考】連結に当たっての視点(「医療・介護データ等の解析基盤に関する有識者会議」報告書(平成30年11月16日)より抜粋)

1. NDB、介護DBとの連結解析の具体的なニーズについて、関係者間で共有されること
2. 収集・利用目的が法令等で明確に定められ、連結解析の根拠についても位置付けることが可能であること
3. 第三者提供の枠組みが法令等で定められ、連結解析に係る第三者提供の根拠についても位置付けることが可能であること
4. NDB、介護DBとの匿名での連結解析が技術的に可能であること(共通の識別子の生成に必要な情報が収集されていること、システム面の対応が可能であること等)

被保険者番号をハッシュ化したID5を用いてがん登録データベース厚労省関連のデータベースを連結する案を検討

令和4年9月8日 第153回社会保障審議会医療保険部会 資料2

がん登録事業

全国がん登録システムの復旧の報告と再発防止について

全国がん登録システムの復旧

2023年11月24日、2019年診断症例までを入力された通りのICD-O-3.1で処理するためのシステム（再構築環境）をリリース

2024年1月22日より2月8日まで、都道府県における2020年診断症例の年次確定に必要な再作業

同3月3日、2020年診断症例年次確定

同3月22日、厚生労働省より2020年罹患報告を公表

同4月15日、再構築環境の利用（データ出力）再開

再発防止

開発工期の確保

十分な実用前検証の実施

上記については、厚生科学審議会がん登録部会、厚生労働省「がん登録とは」、がん情報サービス「録情報の提供 全国がん登録の情報の利用をご検討の皆様へ」等のホームページを通じて公表、周知済

令和5年9月19日 全国がん登録全体会議 資料より

再掲

今回発生した事象のまとめ

・そもそも、届出票段階でICD-O-3.1を3.2へ上書きしたため、本来は3.2を前提とした票内チェック及び再集約を実施すべきであったが、その必要性の認識が漏れており、実施しなかった。

・その中で、年次確定集約情報の更新が誤った定義により行われ、さらに重複レコード回避のため、誤った機械的削除が行われた。

No	事象	原因	影響範囲
1	【ICD-Oコード書換問題】 一部不整合のデータが存在する	ICD-O-3.1から3.2へのコード変換作業で、届出票におけるICD-Oコードに付随する票内の情報を見直さず、またICD-O-3.2に基づく再集約を行わなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 届出票情報および集約情報 (2022/3/22以降) 標準集計表作成 (2022/12/24以降にDLLしたもの) 研究利用目的データ出力 (2022/3/22以降) 病院等への情報提供リスト出力 (2022/3/22以降)
2	【ICD10問題】 標準集計表に、本来出力対象外のICD10コードが出力されていた	NCR更改時に、ICD-O-3.2とICD10との組み合わせ定義作成において、ICD10との組み合わせを考慮せずに、単純に変換表のコードをICD-O-3.1から3.2へ変換したことで、不具合を生じた。また、変換表の検証を行わないまま適用した。	<ul style="list-style-type: none"> 集約情報 (2022/3/22以降) 標準集計表作成 (2022/12/24以降にDLLしたもの) 研究利用目的データ出力 (2022/3/22以降) 病院等への情報提供リスト出力 (2022/3/22以降)
3	【過去データ書換問題】 過去のデータ（地域がん登録のアクティブデータ含む）も含めて届出票レベルでICD-O-3.2に書き換えてしまった。	NCR更改時に、地域がん登録データを（アクティブ）を含む過去に届け出された届出票から、集約情報、年次確定データまで、ICD-O-3.1から3.2に書き換えてしまった。コード体系の変更は疾患概念の変更であり、過去に現在の概念を持ち込むことによる統計指標への影響を考慮しなかった。	<ul style="list-style-type: none"> 届出票情報および集約情報 (2022/3/22以降) 都道府県でのデータ提供 (2022/3/22以降)

全国がん登録システム不具合への対応に関する報告

- 全国がん登録データベースのシステム更改において、届出対象のICD-Oコードの変換に伴う不具合があり、その解消に向け、システム修正と2020年診断データの再確定が必要となった。
- 不具合による影響とその対応状況は以下のとおり。

対象データ	影響	対応状況・予定
診断年2016-2019年	システム更改後に提供したデータの一部に影響が生じた可能性	<ul style="list-style-type: none"> • 影響を受けた可能性がある時期に提供した既提供分の2016～2019年診断症例の申出には、データ復元後、再提供を実施
診断年2020年	データの確定、データ提供の開始が遅延	<ul style="list-style-type: none"> • システム更改前のICD-Oコード（3.1）で再度年次確定を実施 • 「全国がん登録罹患数・率」の集計データを作成（3月中） • 「全国がん登録罹患数・率」の公表後、速やかにデータ提供開始予定
診断年2021年	データの確定、データ提供の開始が遅延	<ul style="list-style-type: none"> • 診断年2020年データの確定遅延に伴い、2021年データの確定も遅延見込み、早期のデータ確定に向けて対応を検討中 • 当該診断年次の提供申出の受付は当面の間見合わせ

- 再発防止策：システム更改の際、開発工期の確保と十分な実用前検証の実施。

[テーマ別に探す](#)
[報道・広報](#)
[政策について](#)
[厚生労働省について](#)
[統計情報・白書](#)
[所管の法令等](#)
[申請・募集・情報公開](#)
[ホーム](#) > [政策について](#) > [分野別の政策一覧](#) > [健康・医療](#) > [健康](#) > [がん対策情報](#) > [がん登録](#)

がん登録

がん登録とは

がんの罹患(病気にかかること)や転帰(最終的にどうなったか)という状況を登録・把握し、分析する仕組みであり、がんの患者数や罹患率、生存率、治療効果の把握など、がん対策の基礎となるデータを把握するために必要なものです。がん対策を推進するためには、正確ながんの実態把握が必要であり、その中心的な役割を果たすのが、がん登録です。

(中略)

全国がん登録 罹患数・率 報告

- [平成28年速報 \[1MB\]](#)
- [平成28年報告 \[8MB\]](#)
- [平成29年報告 \[4MB\]](#)
- [平成30年報告 \[3MB\]](#)
- [平成31年\(令和元年\)報告](#)
- [令和2年報告](#)

・「令和2年(2020年)全国がん登録罹患数・率報告」につきましては、全国がん登録データベースのシステム更改に伴う不具合により、集計等に時間を要し、例年よりも公表が遅れておりましたが、令和6年3月22日付で本ページに掲載いたしました。

また、本報告に掲載した表のエクセルデータを政府統計の総合窓口「e-Stat」へ掲載いたしました。

「令和3年(2021年)全国がん登録罹患数・率報告」につきましては、令和2年(2020年)の集計等の遅延の影響を受け、例年よりも公表が遅れる見込みですが、早期の公表に向けて、全国がん登録データベースの整備を行っている国立がん研究センターを中心に対応を進めているところです。

この対応状況については、以下の国立がん研究センターウェブページをご覧ください。

参考: 国立がん研究センター「全国がん登録の情報の利用をご検討の皆様へ」>「全国がん登録データベースのシステム更改に伴う不具合によるデータ提供等への影響と対応の状況について」

https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/national/datause/general.html

2021年診断症例以降の作業の内訳とスケジュール案

7月下旬より8月末日まで、都道府県における再作業
(2021年診断症例まで優先、2022年、2023年分も併行可)

NCC

定義マスタの修正（済）、ICD-O-3.1と3.2で変更のあった都道府県データベースを含むすべてのアクティブな届出票を未照合に戻す

都道府県

届出票の修正、票内チェックとエラーの解消、再照合、再集約（自動、目視）

11月、12月で2021年診断症例分の遡り調査を実施

2025年3月に2021年診断症例の罹患報告を公表

2025年度に、2022年診断症例、2023年診断症例の2カ年分を確定し、2026年度より従来スケジュールへ

令和6年度 病院予後調査支援事業

【支援対象症例年】 2013年症例10年予後

【募集・データ提出期間】 6月24日（月）～7月26日（金）

【募集対象施設】 2013年症例の全国集計に参加した全ての施設

上記の募集・データ提出期間の一週間前までに、該当する対象施設の院内がん登録担当者様にメールでご案内します

令和6年度 拠点病院等詳細項目（院内がん登録）集計

【調査対象症例年】 2023年症例

【対象施設とデータ収集期間】

1. がん診療連携拠点病院 2024年7月8日（月）～8月9日（金）
2. 拠点外施設 2024年8月19日（月）～9月20日（金）

上記1.については、6月上旬頃、施設の院内がん登録担当者様宛にメールでご案内します

上記2.については、7月上旬頃、がん登録実務初級または中級認定者の方個人宛にメールでご案内します

令和6年度 拠点病院等詳細項目予後付き情報（院内がん登録）集計

【調査対象症例年】 2012年症例10年予後

【集計期間】 2024年7月8日(月) ～ 8月9日 (金)

【対象施設】 2012年症例の全国集計に参加した全ての施設

6月上旬頃、上記に該当する施設の院内がん登録担当者様にメールでご案内します

がん登録 研修・認定事業

令和6年度がん登録 研修 都道府県行政担当者・実務者向け

【種類と形式】

- ① 行政担当者研修
- ② 都道府県実務者研修
- ➡ ①②e-learning研修（昨年同様）

【申込期間と開催日時】

- ①② 申込：5月13日（月）～10月18日（金） 開催：5月15日（水）～11月1日（金）

令和6年度 がん登録 研修 病院等実務者向け

【種類と形式】

- ① がん登録実務初級認定者研修
 - ② 院内がん登録実務中級認定者研修
 - ③ 院内がん登録実務中級者研修
 - ④ 院内がん登録小児がん実務者研修
- ➡ ①②③④e-learning研修（昨年同様）

【申込期間と開催日時】

- ①②申込：7月18日（木）～8月2日（金） 開催：9月2日（月）～9月30日（月）
- ③ 第1回申込：【通常枠】4月2日（火）～4月11日（木）終了【聴講枠】4月15日（月）～4月22日（月）終了
開催：6月11日（火）～7月16日（火）定員（通常枠100, 聴講枠20）
第2回申込：【通常枠】5月28日（火）～6月6日（木）【聴講枠】6月11日（火）～6月18日（火）
開催：8月13日（火）～9月17日（火）定員（通常枠100, 聴講枠20）
- ④ 申込：8月19日（月）～8月30日（金） 開催：9月17日（火）～12月22日（日）

令和6年度 がん登録 認定・認定更新試験 病院等実務者向け

【種類と形式】

- ① がん登録実務初級者認定試験
 - ② がん登録実務初級認定者認定更新試験
 - ③ 院内がん登録実務中級者認定試験
 - ④ 院内がん登録実務中級認定者認定更新試験
 - ⑤ 院内がん登録小児がん実務者認定試験
- ➡ すべてCBT試験（昨年同様）

【申込期間と実施時期】

- ① 申込：8月19日（月）～9月6日（金） 実施：10月1日（火）～10月31日（木）
- ② 申込：9月17日（火）～10月4日（金） 実施：11月1日（金）～11月30日（土）
- ③ 第1回 申込：4月2日（火）～4月11日（木） 終了 実施：8月1日（火）～8月31日（木）
第2回 申込：5月28日（火）～6月6日（木） 実施：10月1日（火）～10月31日（木）
- ④ 申込：9月17日（火）～10月4日（金） 実施：11月1日（金）～11月30日（土）
- ⑤ 申込：12月3日（火）～12月16日（月） 実施：2025年1月9日（木）～1月31日（金）

➡ ②～④については、不合格者及び、試験申込済み受験予定者が感染症等を理由にやむを得ず未受験となった場合に、受験者からの申し出に応じて再試験への受験を案内する予定

令和6年度 がん登録 分析研修 拠点病院等向け

【種類と形式】

院内がん登録分析研修

➡ e-learning + オンライン研修

【対象】

①基礎：初めてデータ分析を行う実務者

②応用：過去に研修会を受講された方や施設において実際にデータ分析を行ったことがある実務者

【申込期間と開催日時】

①（基礎）申込：2024年7月25日（木）～8月8日（木）

実施：第1回目 2024年11月7日（木）、第2回目 2024年11月12日（火）

②（応用）申込：2024年9月26日（木）～10月10日（木）

実施：第3回目 2025年1月15日（水）、第4回目 2025年1月23日（木）

【募集人数と受講/聴講料】

受講生：①②ともに10名程度

聴講生※：各回10名程度

※自施設で別途受講生がいる場合のみ

がん登録データを活用した調査

2024年度QI研究予定

【担当部署】がん対策研究所 医療政策部（間野 博行）

【調査対象症例年】 2022年症例に対するDPCデータ 2021年10月～2024年3月を加工

【参加募集期間】 2024年7月中旬～2024年8月下旬（予定）

【データ収集期間】 申込時～9月下旬（予定）

【対象施設】 2022年症例の院内がん登録全国集計参加施設

7月中旬～8月頃に、上記に該当する施設の院内がん登録担当者様に
メールでご案内します。（ご案内時、期間をご確認ください）

2024-25年度 小児患者体験調査予定

2024年度中に調査準備 ⇒ 2025年度4月頃迄に発送
2025年度内に集計

- 担当部署 がん対策研究所 がん政策評価研究部 (松岡 豊)
- 対象者 院内がん登録 2022年診断症例 18歳未満
- 全数調査
- 2024年度中に各施設へ調査協力依頼の連絡

準備が整い次第（12月前後想定）、各施設の
政策公衆衛生研究連絡事務窓口及び、院内がん登録のご担当様宛に
メールでご案内します